



城陽エコパートナー通信

Vol. 7

発行日：平成17年(2005年)10月12日

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
(事務局) Tel(56)4061 Fax(56)3999



EM 菌の学習会に参加して

9月3日(土) 学習会には多くの市民が参加されました。講師にお招きした平山嘉昭氏は「私は科学者でもなく、EM菌を専門に研究している者でもありません。ただ、EM菌を実生活で活用していることを、この学習会で紹介させていただこうとするものです。」と前置きされ「EM菌は、琉球大学農学部の比嘉教授が発見され、自然界に存在する微生物のうち、人間に有用な働きをするものを集めた液体状のものです」とEM菌を紹介されました。続いて、8月6日(土)に平山さん宅を訪問して撮影した「ビデオ」を約20分観ていただきました。ビデオには「ぼかし」の材料(EM1、糖蜜、米ぬか)の説明、「ぼかし」の作り方、生ごみが堆肥化される過程、堆肥の保存方法、土との配合の仕方、EM菌の堆肥で育ったプチトマト、EM菌の種類(EM1、EM5、EMW)や使用方法が写しだされていました。

このビデオの撮影に伺った時のこと、平山さんは噴霧器(EM5を希釀したもの)で、病害虫予防にと野菜に噴霧され、その時！ご自身の口の中にも噴霧されました。スタッフ一同、いや驚きました。EM菌への信頼と使用実績の結果だろうと感心したものでした。

続いて、平山さんから「ぼかし」の作り方、生ごみ堆肥の作り方、堆肥の使い方などの説明があり、質疑応答へと進みました。平山さんは、会場からの質問にも丁寧に答えておられました。その後、参加者が4グループに分かれて「ぼかし」作りの体験をしていただきました。EM菌の活用を工夫し実証した結果を、多くの人に伝えようとしている平山さんの熱意と人柄にすっかり魅了された学習会でした。

循環・地球環境部会では、環境にやさしい生活の一つの「材料」として、EM菌を活用していただければと願っています。地球温暖化に対する対策は、焦眉の急の課題であると思います。局地的な豪雨、台風、ハリケーン、熱波、寒波などの異常気象が毎年発生しています。しかし、地球上で延々と続けてきた生産や商業などの経済活動を、自然破壊を進めるものとして一概に否定することも止めることもできないでしょう。ただ、私たち個人にもできることがあるはずです。EM菌を使用した生ごみ堆肥を作る過程で、生ごみを減量し、その液肥で排水を浄化する。これも環境にやさしい取り組みの一つでしょう。その他にも日常生活でできることははあるはずです。私たちも、こんなことくらいと思うことから始めてみませんか。私は、風呂の残り湯を洗濯やトイレに使用し、そして唯一私をパートナーとして信頼してくれている「ラズ」の散歩の後の足洗いをし、最後にお風呂を洗っています。今は、そんなことしかしていませんが、今回のEM菌の学習会をきっかけに、生ごみの堆肥作りにも挑戦していきます。(運営委員：杉本年雄)





✿✿コスモスの花が咲きました✿✿

17年度事業計画『生活・自然・快適・循環・参加・地球環境』の今年度の新規事業として【生活・自然】部会では、市内の休耕田（約1200m²）を活用して『身近に自然を感じられる憩いのまちづくり』を目指し《花いっぱい運動》を開催しております。

農作業はズブの素人集団の運営委員による真夏の草引きの汗の結晶、《秋の花》コスモスがやっと咲いてきました。7月初旬にドロンコの田んぼに足を取られ、泥だらけになりながら種まきしたら、翌日の雨で種はほとんど流されてしまいました。8月に再度種まきをする失敗を重ねながら雑草の中でコスモスは少しずつ育ってきました。7月～9月間の毎土曜日は、500mlのお茶をすぐ飲み干してしまうような猛暑の中、コスモスより数倍成長の早い雑草と運営委員との格闘が始まりました。“自然現象を相手にする農作業って本当に大変なんだ”とつくづく身にしみて感じた次第です。素人作業を見るに見かねて経験者のアドバイスや心強い参加者もでき、頑張ってきました。

雑草に負けて、ひ弱なヒヨロ、ヒヨロした苗やしっかりと大地に根を下ろした丈夫なコスモスなど様々な花がR24〔城陽警察署〕の西200mの国道沿い田んぼに、今、咲き始めています。反省点としては、一番に雑草対策のいろいろ（マルチを敷く・畦を高くして畦幅をもっと狭く…）。コスモス以外のひまわり等も植える。

今後の展開としては、10月中旬には本番の、菜の花の種まきです。4月下旬に菜種を収穫し搾油してナタネ油にします。（油かすは肥料へ）。夢は大きく、天ぷらなどの廃食油は再生エネルギー〔BDF：バイオ・ディーゼル燃料〕として利用する計画もあります。

9月3日に平山嘉昭さんから『EM：EM菌による生ごみ堆肥化』の研修会で学んだ、EM菌で生ごみ処理した堆肥で立派な苗を育てて、経験者の心強い味方も出て来て、コスモスでの苦い経験を活かして立派な菜の花を作りたいと考えています。

《菜の花は田んぼの油田》を合言葉に、子供たちも参加できる資源循環リサイクルの勉強も企画しております。今年、お隣の田んぼには、ことの外、イナゴ（バッタ）もいっぱい飛び交い、田んぼの側溝にはまだまだザリガニがいっぱい！！

これからは、遊べて、楽しく、面白い畠（田んぼ）にしたいと運営委員一同考えています。皆さんも参加してみませんか。アイデア募集！（運営委員：井手邦彦）



環境ミニ辞典

「グリーン・ツーリズム」とは？

都市に住んでいる人々が、緑豊かな農山漁村に出かけ、農家民宿などに滞在し、その地域の自然、文化、産業等を体験したり、まつりやイベントに参加して、余暇を楽しむものです。ヨーロッパでは、このような活動を、「ルーラルツーリズム」や「アグリツーリズム」と言って、長期のバカンスを楽しんでいます。



気軽に楽しむエコライフ

第4回城陽市環境フォーラム

11月5日(土) 文化パーク城陽 (近鉄京都線寺田駅下車東口から南へ450m)

メインイベント 14:00~15:30 市民プラザ

漫談・落語 (笑福亭仁嬌)
環境クイズ大会 (参加者に粗品進呈)
司会進行：武部 亮太郎

入場自由



(しょうふくてい にきょう)
笑福亭 仁嬌

我が家の省エネ診断 11:00~14:00 市民プラザ

診断を受けられた方に粗品進呈
〔ご家庭の電気・ガス・水道の3ヶ月分の使用量
または検針票などをお持ちください〕

環境関係団体の展示 11:00~16:00 スロープ・市民プラザ

親子工作教室 10:00~12:00 第3会議室



対象 小学生と保護者
定員 15組
参加費 無料
申込み 事務局へお電話で



牛乳パックと
太陽電池を使用した
「メロディハウス」

エコクッキング 10:00~13:00 寺田コミセン調理実習室



対象 市内在住の方
定員 30名
参加費 500円(材料費)
申込み 事務局へお電話で
持ち物 エプロン・三角巾・タオル

～メニュー～
・お茶葉の佃煮
・鮭ときのこのつみれ汁
・お茶がらのパウンドケーキ

お問合せ先：城陽環境パートナーシップ会議事務局(城陽市環境企画課)56-4061

主催：城陽環境パートナーシップ会議 / 城陽市

『自然観察会』にご参加ください

身近な動植物の観察や河川の調査を通して、地域の自然と環境の大切さを学びませんか？

開催日時：平成17年10月29日(土)

9時～12時 雨天中止

判断しかねる時は、当日午前8時30分～45分の間に事務局(56-4061)へ連絡してください。

集合場所：消防訓練搭駐車場

(保健センター来客用駐車場)

観察場所：今池川上流と清水川周辺

(往路)動植物観察

水質調査

(復路)ごみ拾い

講 師：中川宗孝氏（巨椋野外鳥類研究会）

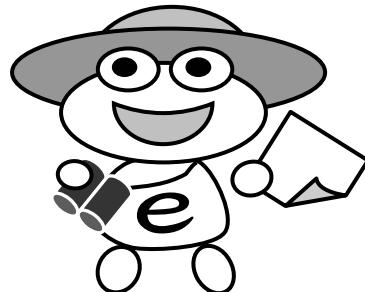
対 象：市内在住者（人数制限なし）

参 加 費：無 料

持 ち 物：動き易い衣服類、帽子、水筒、筆記具、雨具、運動靴、あれば双眼鏡、図鑑（軍手とごみ袋はこちらで用意します）

申込方法：当日現地（消防訓練塔）集合

主催：城陽環境パートナーシップ会議 協力：城陽生きもの調査隊



部会に参加しませんか

生活・自然部会

身近な河川や動植物、花いっぱい運動 など

循環・地球環境部会

ごみの減量、太陽光発電、環境家計簿 など

開催日時：いずれも毎月第1・第3木曜日の午後7時～9時（変更の場合あり）

開催場所：市役所内会議室（変更の場合あり）

申し込み：参加を希望される方は、事務局までご連絡ください。

次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

イズミヤ㈱大久保店、京都城陽ロータリークラブ、近畿砂利協同組合、京阪観光開発㈱東城陽ゴルフ俱楽部、サントリー食品工業㈱宇治川工場、㈱城南工建、城陽金融会、城陽市建設業協会、城陽市役所、城陽商工会議所、(社)城陽青年会議所、白鳥幼稚園、星和電機㈱、玉井開発、長池工業㈱、㈱長尾組、日本観光ゴルフ㈱城陽カントリー俱楽部、㈱平和堂アル・プラザ城陽、㈱ミズホ、森澤博光、㈱山岡製作所

※平成17年9月末日現在（五十音順・敬称略）